

平成28年度 文部科学省 専修学校留学生就職アシスト事業

留学生受入れのための 実践的ガイドブック

第1版

目次

| | |
|------------------------------|------------|
| 本ガイドブックの使い方 | 004 |
| Q 1 ビザ（査証）と在留資格の違い | 006 |
| Q 2 留学生と技能実習生及び就労可能な在留資格との違い | 007 |
| 第1章 留学生の受入れ | 009 |
| 第1節 入学から卒業までの留学生サポートと役割 | 010 |
| 第2節 日本留学の条件と専門学校の入学資格 | 011 |
| Q 1 在留資格「留学」の取得 | 011 |
| Q 2 専門学校の入学資格 | 013 |
| Q 3 留学生の在留資格と在留期間 | 018 |
| 第3節 専門学校入学までの入国・在留手続き | 021 |
| Q 1 専門学校入学の流れと在留資格の取得 | 021 |
| Q 2 ビザ（査証）の取得手続き | 026 |
| Q 3 代理申請と申請取次 | 028 |
| 第4節 入学選考 | 030 |
| Q 1 留学生に求める出願書類 | 030 |
| Q 2 入学者の選抜基準 | 032 |

目次

| | |
|-----------------------------|------------|
| 第2章 在学中の生活指導 | 041 |
| 第1節 入学後の留学生指導 | 042 |
| Q1 オリエンテーション | 042 |
| 第2節 留学生担当職員の業務 | 047 |
| Q1 在籍管理・出欠管理 | 047 |
| Q2 クラス編成・授業進行 | 062 |
| 第3節 資格外活動（留学生のアルバイト） | 065 |
| Q1 留学生のアルバイトと資格外活動許可 | 065 |
| Q2 アルバイト収入の勤労学生控除と労災保険 | 074 |
| 第4節 在学中の諸手続き | 076 |
| Q1 在留期間更新許可申請 | 077 |
| Q2 在留資格変更許可申請 | 084 |
| Q3 継続就職活動を目的とした「特定活動」の申請 | 096 |
| Q4 在留カード | 104 |
| Q5 再入国許可制度（みなし再入国許可） | 111 |
| Q6 資格外活動許可申請（手続き） | 115 |
| Q7 国民健康保険 | 119 |
| Q8 住民税 | 121 |
| Q9 マイナンバー制度 | 122 |
| Q10 国民年金 | 125 |
| Q11 奨学金制度 | 129 |
| Q12 万一のための保険（任意保険等） | 130 |
| | |
| 第3章 キャリア支援 | 135 |
| 第1節 留学生の就職の現状 | 136 |
| Q1 留学生の就職概況 | 136 |
| Q2 就職先ごとに見る留学人材のニーズ | 137 |
| 第2節 就職先の条件 | 141 |
| Q1 留学生が就職できる分野とできない分野 | 141 |
| 第3節 就職情報の収集 | 143 |
| Q1 留学生の求人情報の収集ルート | 143 |
| Q2 留学生の就職活動の時期 | 145 |
| 第4節 出願書類と常識試験・作文対策 | 147 |
| Q1 履歴書の書き方指導 | 147 |
| Q2 作文・論文対策と常識試験対策の指導 | 148 |
| 第5節 面接対策 | 149 |
| Q1 就活マナーの指導 | 149 |
| Q2 面接対策（想定問答づくりと事前トレーニング） | 150 |

| | |
|---------------------------|-----|
| 第 6 節 資格取得のサポート | 153 |
| Q 1 専門資格の取得指導 | 153 |
| Q 2 日本語資格の取得指導 | 156 |
| 第 7 節 対企業向けの取り組み | 158 |
| Q 1 企業の採用チャンネル拡大とインターンシップ | 158 |
| 第 8 節 卒業後の就活サポート（継続就職活動） | 167 |
| Q 1 継続就職活動を目的とした「特定活動」 | 167 |
| Q 2 継続就職活動の活動期間 | 169 |
| Q 3 帰国指導 | 170 |
| 第 9 節 卒業後の就労が可能となった新分野 | 171 |
| Q 1 在留資格「介護」新設と介護業務での就労 | 171 |
| Q 2 和食実習に在留資格「特定活動」付与 | 173 |

第 4 章 留学生受入れの現状と将来像 175

| | |
|-------------------------|-----|
| 第 1 節 留学生 30 万人計画と留学生政策 | 176 |
| Q 1 留学生 30 万人計画 | 176 |
| Q 2 近年の留学生政策 | 179 |
| 第 2 節 留学生受入れの現状 | 181 |
| Q 1 留学生の在籍状況と専門学校における概況 | 181 |

第 5 章 Q&A 集 185

第 6 章 資料編 211

| | |
|---|-----|
| 1. 平成 28 年度専門学校留学生受入れ実態に関する調査（職業教育・キャリア教育財団：平成 28 年） | 212 |
| 2. 専修学校及び各種学校における留学生の受入れについて（文部科学省：平成 22 年） | 216 |
| 3. 留学生の卒業後等における教育機関の取組等について（法務省：平成 27 年） | 219 |
| 4. 大学等を卒業後就職活動のための滞在をご希望のみなさまへ（法務省：平成 28 年） | 221 |
| 5. インターンシップをご希望のみなさまへ（法務省） | 222 |
| 6. 専門学校留学生受入れに関する自主規約（全国専修学校各種学校総連合会：平成 23 年） | 223 |
| 7. 専門学校における留学生の入学及び在籍管理に関するガイドライン （全国専修学校各種学校総連合会：平成 23 年） | 225 |
| 8. 関係機関・団体一覧 | 231 |



本ガイドブックの表記については、以下のように統一しています。

- 出入国管理及び難民認定法 → **「入管法」**
- 出入国管理及び難民認定法第七条第一項第二号の基準を定める省令 → **「基準省令」**
- 出入国管理及び難民認定法施行規則 → **「施行規則」**

また、記載されている法令については 2017 年 2 月までのものです。

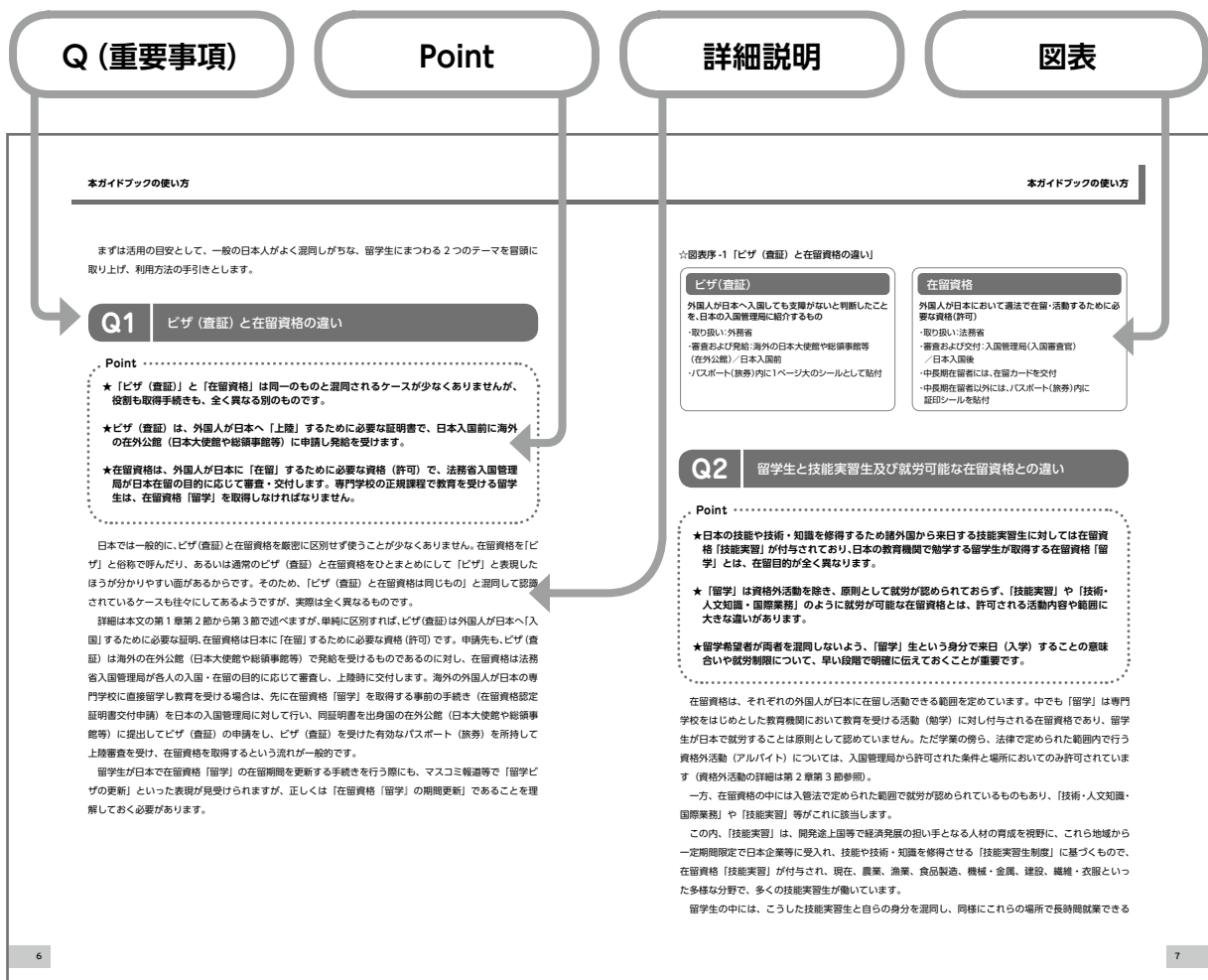
本ガイドブックの使い方

本ガイドブックは、全国の専門学校で外国人留学生の受入れや指導にあたる教職員にとって、実務上の手引きとなるような指南書を目指し刊行されました。

全体の構成としては、留学生の受入れに必要な諸条件や入学選考、在学中の生活指導と必要な諸手続き、さらには卒業後を見越したキャリア支援まで漏れなくカバーし、留学生の受入れから送り出しまでを一冊でフォローできるような内容を盛り込んでいます。また留学生 30 万人計画や改正入管法を始めとした国の最新の留学生政策についてもスペースを割き、専門学校の留学生受入れのベースとなっている関係省庁の通知や管理指針は資料編として収録しました。

各ページの基本的な使い方について

実際に本ガイドブックを活用いただく上では、分量の膨大さと留学生関連業務のカバー範囲の広さから、まずは留学生受入れ実務に初めて携わる教職員が利用しやすいよう、各章各節において踏まえておかなければならない重要事項を「Q」ごとに整理した上で、本文の概要を冒頭に掲げた「Point」でコンパクトに把握できるようにしました。それぞれの「Point」に関する具体的な内容は本文で詳述しており、さらには、実際に受入れ現場において参考となるような指導事例も豊富に盛り込み、すでに受入れノウハウに熟練した上級者にも活用できるものを想定しています。



各章ごと 事例

留学生の受入れを行っている全国の専門学校の中から、特徴的な取り組みを行っている学校を、各章のテーマに合わせて具体的な事例形式で紹介しています。

各章ごと ケーススタディ

事例と同様に全国の専門学校の中から各章のテーマに合わせた取り組みを紹介しています。事例よりもさらに詳細に、実際に使用している資料等を交え各校の特徴的な取り組みを紹介しています。

巻末 Q&A

各専門学校から実際に質問の多かった項目を、より具体的にQ & A方式で紹介しています。各章のテーマに沿って質問を集めていますので、Q & Aを見て頂くことで、より実践的な理解が深まります。

巻末 資料

全国の専門学校から集計した統計データや、各省庁の通達、関係機関・団体の連絡先等資料を収録しています。

**<Q & A掲載内容に関する注意事項>**

本ガイドブック掲載のQ & Aは、発行時点での法令に基づき個別の事例を行政書士の監修のもと編集したものです。

実際の運用とは異なるケースや、今後の法改正等に伴い、内容に変動が生じることがありますのでご了承ください。